

原子力機構 燃料研究棟汚染事故に係る対応（日報）

7月3日（月） 日報【実績】	内 容
現場復旧対応	<p>○108号室の安全確保のための措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フード内の貯蔵容器を移動するための作業計画書を作成中です。 ・フード内の貯蔵容器の蓋を固定（テープ固定も可）するための作業の準備を開始しました（7/4作業開始予定）。 <p>※ 作業内容の詳細は、 https://www.jaea.go.jp/04/o-arai/information/2017/070302.pdf をご参照ください。</p> <p>○現場の除染</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛散したものを除去するための作業内容等を検討中です。
原因究明対応	<p>○内容物の同定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貯蔵容器80個分の帳票類の履歴調査を継続中です。 <p>○破裂メカニズム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹脂製の袋にガスを注入したものが金属缶中で破裂する事象を模擬した実験を継続中です。貯蔵容器に蓋を載せた状態での実験を開始しました（非管理区域）。 ・放射線（アルファ線）を照射した樹脂が分解する事象を調べる試験を行い、重量測定及び密閉状態での内圧測定を継続中です。 ・樹脂へのヘリウム照射試験の準備中。 ・樹脂製の袋へのガンマ線照射試験を開始しました。 ・破裂が生じた要因を図式化したフォルトツリー解析図を構築し、文科省特命チーム会合にて報告しました。

<p>その他 (総点検・水平展開、 被ばく評価対応な ど)</p>	<ul style="list-style-type: none">○核燃料物質の貯蔵等に係る総点検<ul style="list-style-type: none">・各拠点における総点検（貯蔵中の核燃料物質の管理状況、貯蔵容器等の取扱い作業に関する管理状況の確認等）を実施中です（6/15～）。○被ばく評価（バイオアッセイ協力、外部被ばく評価）<ul style="list-style-type: none">・バイオアッセイ試料（便）の分析結果のとりまとめを行っています。・外部被ばく線量の評価を継続中です。○作業員の状況<ul style="list-style-type: none">・3名が量研放医研に入院しました。○外部対応<ul style="list-style-type: none">・原子力規制庁と定例面談を行いました。・原子力規制庁に作業計画書の修正版の説明を行いました。○事故後の作業員の除染作業の概要について、文科省特命チーム会合にて報告しました。
---	---